

文章力ステップ3級 指導ナビの使い方

本資料について

- ・文章力ステップ3級・指導ナビを使用した指導手順の例を一覧表で掲載しています。
- ・一覧表は【1コマ45分×10コマ】での指導例を掲載していますが、順不同でご活用いただけます。
貴校でのお取り組み状況に合わせて、自由に選択・組み合わせてご活用ください。

基本的な使い方

- 一覧表では、主に以下の流れで授業を進めています。
- ①学生に文章力ステップ・指導ナビ（学習者用）を配布
 - ②教員より指導ナビ（指導者用）を使ってポイントを説明
 - ③文章力ステップの演習問題に取り組む
 - ④文章力ステップの別冊解答にて自己採点を行う（学生同士で交換し、相互採点させることも一法）

▼指導手順例 一覧表

コマ数	時間(分)	内容	指導ナビ スライド	文章力 ステップ	指導ポイント
		●指導者用資料に沿って説明 ○文章力ステップ3級の問題に取り組む ☆文章力ステップ3級別冊解答を使用	●指導者用資料 ★学習者用資料	○ステップ3級 ☆別冊解答	
1	5	●はじめに	●3～11 ★2～10		★学習者用資料【表紙～17】を配布 （10時限分まとめて配ってもよい） 学生にとっての具体的なメリットを伝え、 この授業を受ける意義を理解させる。 指導者用資料8～10の説明時に、 学生の専門分野（就職先）でのメリットを付け加えることも一法。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	15	○第1章 語彙・文法 第1～2ステップ	●12～14 ★11～12	○P6～13	
	5	☆答え合わせと解説		☆P3～6	
	10	●時制・副詞・接続関係	●15～21 ★13～17		
	10	○第1章 語彙・文法 第3ステップ	●22～24	○P14～17	
2	5	☆答え合わせと解説		☆P7～8	★学習者用資料【18～28】を配布 言葉と図表を合わせて使うことで、 文字だけの説明よりも分かりやすくなることを理解させる。 また、図表には、いろいろなものがあり、 用途によって使い分ける必要があることを理解させる。 学生の専門分野（就職先）でよく使うグラフを例示し、 使用用途や使用場面を解説することも一法。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	5	●資料分析	●25～35 ★18～23		
	10	○第2章 資料分析 第1～3ステップ	●36～39 ★24～26	○P18～23	
	10	☆答え合わせと解説		☆P8～10	
	10	○第2章 資料分析 第4～5ステップ	●40～42 ★27～28	○P24～27	
	5	☆答え合わせと解説		☆P10～11	
3	10	○第3章 文章読解 第1ステップ	●43～46 ★29～31	○P28～29	★学習者用資料【29～42】を配布 指導者用資料44で読解力を身につけるメリットを説明をする際、 学生の専門分野（就職先）で役に立つ例を紹介することも一法。 指導者用資料49, 51～53は学生に配布しているので、 見ておくよう声かけする程度でよい。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	5	☆答え合わせと解説		☆P11	
	5	●文章読解	●47～54 ★32～37		
	10	○第3章 文章読解 第2ステップ	●55	○P30～31	
	5	☆答え合わせと解説		☆P12	
	10	●文章読解	●56～63 ★38～42		
4	20	○第3章 文章読解 第3～7ステップ	●64	○P32～41	★学習者用資料【43～45】を配布 第4章では、手紙文の学習を通じて、分かりやすい文を書く練習をする。 「手紙など書かないから関係ない」と学生が思わないよう、 この章で学ぶことの意義を指導者用資料69で理解させる。 学生の専門分野（就職先）で、どんな風に役立つかの説明を加えることも一法。 <div>問題数が多くて集中力が続かない場合は、 見開き1ページごとに問題演習→採点を交互におこなうのもおすすめ！</div>
	10	☆答え合わせと解説		☆P12～15	
	5	●手紙文	●65～70 ★43～45		
	5	○第4章 手紙文 第1ステップ	●71	○P42～43	
	5	☆答え合わせと解説		☆P15～16	

コマ 数	時間 (分)	内容	指導ナビ スライド	文章力 ステップ	指導ポイント
		●指導者用資料に沿って説明 ○文章力ステップ3級の問題に取り組む ☆文章力ステップ3級別冊解答を使用	●指導者用資料 ★学習者用資料	○ステップ3級 ☆別冊解答	
5	5	●敬語	●72～75 ★46		★学習者用資料【46～50】を配布 指導者用資料82の答えを見せたあと、ひとつの文にひとつの内容になるように書くメリットを、学習者の関心に寄せて話すことも一法。 例えば、「伝わる自己PR文が書けるようになる」 「実習レポートが書けるようになる」など。 <div>『長い文は分かりにくい！』ことを体感させるために、 指導者用資料80・82はそれぞれ音読して聞かせるのがおすすめ！ (82は文の切れ目が分かるよう、接続語をはっきりと発声すること)</div>
	5	○第4章 手紙文 第2ステップ	●76	○P44～45	
	10	☆答え合わせと解説		☆P16～17	
	10	●推敲	●77～82 ★47～50		
	10	○第4章 手紙文 第3～5ステップ	●83	○P46～51	
	5	☆答え合わせと解説		☆P17～20	
6	5	●意見文とは	●84～95 ★51～58		★学習者用資料【51～63】を配布 指導者用資料85～89の説明の際、意見文が「感想文」や「作文」と異なることを補足することも一法。 <div>ウォーミングアップ1, 2は、 ペア・グループワークで取り組ませるのがおすすめ！ グループワークが終わったら、各グループごとに ブレインストーミングで出てきた内容を発表するなど ぜひクラス内で共有してください。</div>
	5	○第5章 意見文 第1ステップ	●96	○P52～53	
	5	☆答え合わせと解説		☆P20～21	
	15	●ウォーミングアップ 1	●97～100 ★59～61		
	15	●ウォーミングアップ2	●101～102 ★62～63		
7	5	●ブレインストーミングの復習	●98 ★59		★学習者用資料【64】を配布 テキスト P 54, 55を解かせる前に、ブレインストーミングのコツ（指導者用資料98, 学習者用資料59）を使って軽く復習。 時間があれば、指導者用資料97～102を復習するのもよい。 残ったテキストの問題は宿題にしてもよい。
	10	○第5章 意見文 第 2 ステップ	●103	○P54～55	
	5	☆答え合わせと解説		☆P21	
	5	●意見文の型	●104～107 ★64		
	20	○第5章 意見文 第3～5ステップ	●108 ★64	○P56～61	
8	10	☆答え合わせと解説		☆P21～23	★学習者用資料【65～74】を配布 第6・第7ステップは分けてもよい。 第7ステップは、学習者が書いた意見文を元にした答え合わせはクラス内では困難であるため、別冊解答にある作成例を元に解説するとよい。 <div>意見文については自己採点が難しいため、 別冊解答p26のチェック項目を使った学生同士の相互採点がおすすめ！</div>
	20	●意見文の手順	●109～121 ★65～74		
	10	○第5章 意見文 第6～7ステップ	●122	○P62～67	
	5	☆答え合わせと解説		☆P23～26	
9	30	○まとめ問題	●123～124	○P68～75	★学習者用資料【75～77】を配布 巻末のまとめ問題（検定1回分の問題量）を2時限に分けて解かせる。※分け方はこの通りでなくともよい
	15	☆答え合わせと解説		☆P26～29	
10	30	○まとめ問題	●125	○P76～77	これ以上の授業時限数が確保できる場合は、協会HPに掲載している過去問題などを利用して、模擬テストをおこなうことも一法。
	15	☆答え合わせと解説	●126～127 ★75～77	☆P30～31	